さかわ発明ラボ news vol.29

開館日：毎週金曜日・土曜日
佐川町甲2436（佐川町役場向かい）
0889-20-9366　sakawa.hatsumei.lab@gmail.com
staff 浅野・泉・上川・大道・亀井・篠原・松田

「創造性を育むものづくり」をサポート

発明ラボは、機材貸出以外にも次のような活動に取り組んでいます。

放課後発明クラブ　ものづくりを通して、自分を表現する

子どもたち一人ひとりが自分の力で考え、手を動かしながら創造性を育むための「放課後発明クラブ」が6月からスタートしました！発明クラブでは小学1年生から中学生3年生までを対象に、紙や木・アクリル等の様々な素材を使って“楽しみながら”ものづくりを学び、子どもたちそれぞれの表現方法を探していきます。発明ラボならではのデジタル工作機器を活用したカリキュラムになっています。

※今年度放課後発明クラブへのご応募ありがとうございました。今年度の定員は水曜日、木曜日各15名、計30名の募集でしたが、開始時点で各16名、計32名の応募があったため、子どもたちのものづくりに対する気持ちを考慮し、今年度は計32名の受け入れといたしました。

さかわロボット動物園　地域産業 × 創造性教育プログラム

動物ロボットの製作を通して、地域産業やデザイン・プログラミングを体験的に学べる授業「さかわロボット動物園」に、町内の全小学6年生が今年度から取り組んでいます。これは、4年前より尾川小学校で実施していたもので、創造性を育む授業として町内の全小学校の教育課程に組み込まれました。授業の実施にあたっては、発明ラボがロボットの設計をはじめ、授業の企画や講師までサポートさせていただいています。

ハツメイコラム　じぶんでじぶんをおもしろがらせる「ものづくり」

ラボスタッフ
大道

発明ラボは、ものづくりを通した学びをひとつの活動方針においています。知識や技術を習得することだけが学びではありません。アウトプットのためのインプット。誰かが設定した問題や答えに向かうのではなく、自分で課題を見つけ、目標を設定し、試行錯誤する。小さなPDCAのサイクルが「ものづくり」にはギュッと詰まっています。失敗をしても大丈夫。また作り直せばいいだけだから。『じぶんでじぶんをどうおもしろがらせるか』。これが、これからの社会を生きていく上での重要なスキルとなるでしょう。それは、子どもたちだけではなく、大人にこそ体験してもらいたいと思っています。子どもも大人も関係なく、ものづくりを楽しむ人として気軽に発明ラボに遊びに来てくれたらと思っています。

お知らせ［リサイクルボックス　はじめました］

レーザーカッターの試し切りに使える端材が入っています。ぜひご利用ください！

佐川町の観光拠点よりホットな話題をご紹介します　ほっとステーション

観光・イベント情報・お土産・古民家カフェ

一般社団法人 さかわ観光協会

8月のお休み
3(月)、11(火)、17(月)、24(月)、31(月)

【さかわ観光協会】
佐川町甲1472番地1
旧浜口邸内
☎0889-20-9500
9:00～17:00
休館日：月曜（祝日の場合翌日）

公式Facebook

「さかわほろ酔い小包」販売開始！

佐川町出身の人気声優・小野大輔さんプロデュースのお酒やお菓子、佐川茶など、さかわの味覚を詰め合わせたセットができました。故郷の味を県外の人に送りませんか？

詳細をご希望の方はHP「さかわの栞」をご確認いただくか、またはさかわ観光協会までお問い合せください。

問 さかわ観光協会　電話20-9500

※販売は20歳以上の方に限ります。

くろがねまち歩きガイドが4コースになりました！

今回は4つのコース説明を行います。これを機にさかわの歴史に触れてみませんか？申し込みはHP「さかわの栞」、またはさかわ観光協会までお問い合せください。

問 さかわ観光協会　電話20-9500

町並み散策コース	牧野富太郎コース
歴町佐川へ、来ませんか！江戸時代の情緒漂う城下まち並みには、国の重要文化財「竹村家住宅」や、その他古民家や酒蔵等、文化財が数多く残っています。歴史を楽しみ、至福の一時を過ごしましょう。	牧野富太郎博士の生誕地ならではの健脚向きコースです。エピソードを交えながら、子どもの頃遊んだ所や生家をめぐり、往年の博士を偲びます。ご希望の方には、バイカオウレンを愛でた金峯神社をご案内します。
佐川の酒蔵めぐりコース	**お買い物コース**
佐川は酒処、「司牡丹酒蔵見学」に行ってみよう！司牡丹の酒は、高品質で個性あふれ、喉ごしが良く大変飲みやすいと評判です。「司牡丹ギャラリーほてい」では、酒の購入のみならず、試飲も可能です。	佐川のおもしろグッズ、草木染め、四季折々のスイーツ、香り豊かなお茶、紅茶、パウリスタコーヒー、山椒もち、地乳と老舗の日本酒、そしてこだわりの古民家雑貨店、酒蔵の道を散策しながらお買い物を楽しみませんか。

地域おこし協力隊の観光協会日誌　当番 吉澤大

着任から1年が経ちました。2年目は、自分の活動をもっと明確にし、行動に移す段階にしていかなければなりません。それに向けて、他地域や他の協力隊の取り組みなどについて学んできましたが、思うように自分の活動と結びつかず歯がゆさを感じていました。

そのような最中、先月地域の方から「以前は山菜を生かした弁当を作ってたね」「にらの加工場には栄養豊富な根元の部分がたくさんあって有効活用できたらいいね」といったお話やアイデアを聞かせていただく機会がありました。

その中で私はある気づきを得ました。それは、成功事例自体を学ぶのではなく「どうして成功できたのか」という視点と、地域の方から佐川町について学ばせてもらう大切さです。それらを組み合わせていくことで、日頃忙しい地域の方たちとも一緒になってアイデアを実現させていくことができるのではないか、という可能性を感じました。

2年目の活動をより一層充実させ、行動に移していけるように、今回得た気づきを大切に引き続き活動していきたいと思います。